

スウェーデン式サウンディングの目的と概要

目的

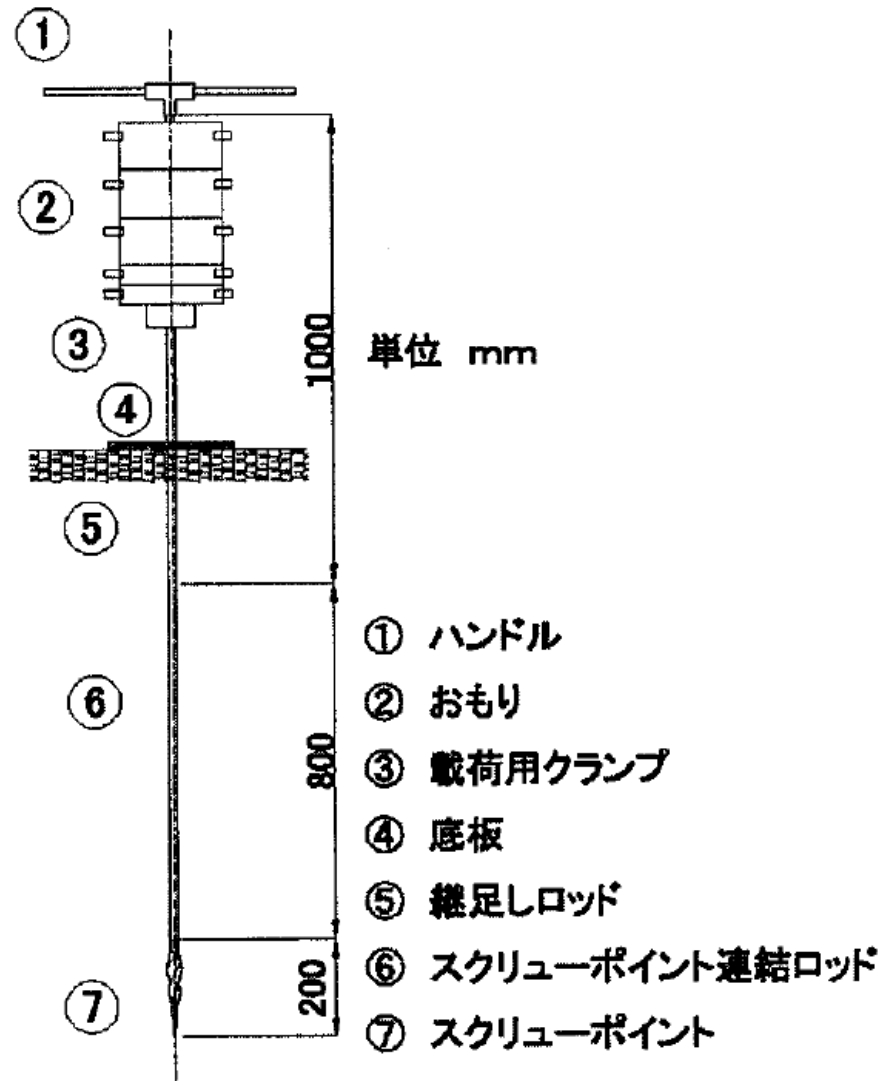
- 土の硬軟、締まり具合の判定
- 土層構成の把握

概要

- 荷重による貫入と回転による貫入を併用した原位置試験
- 土の静的貫入抵抗を測定する

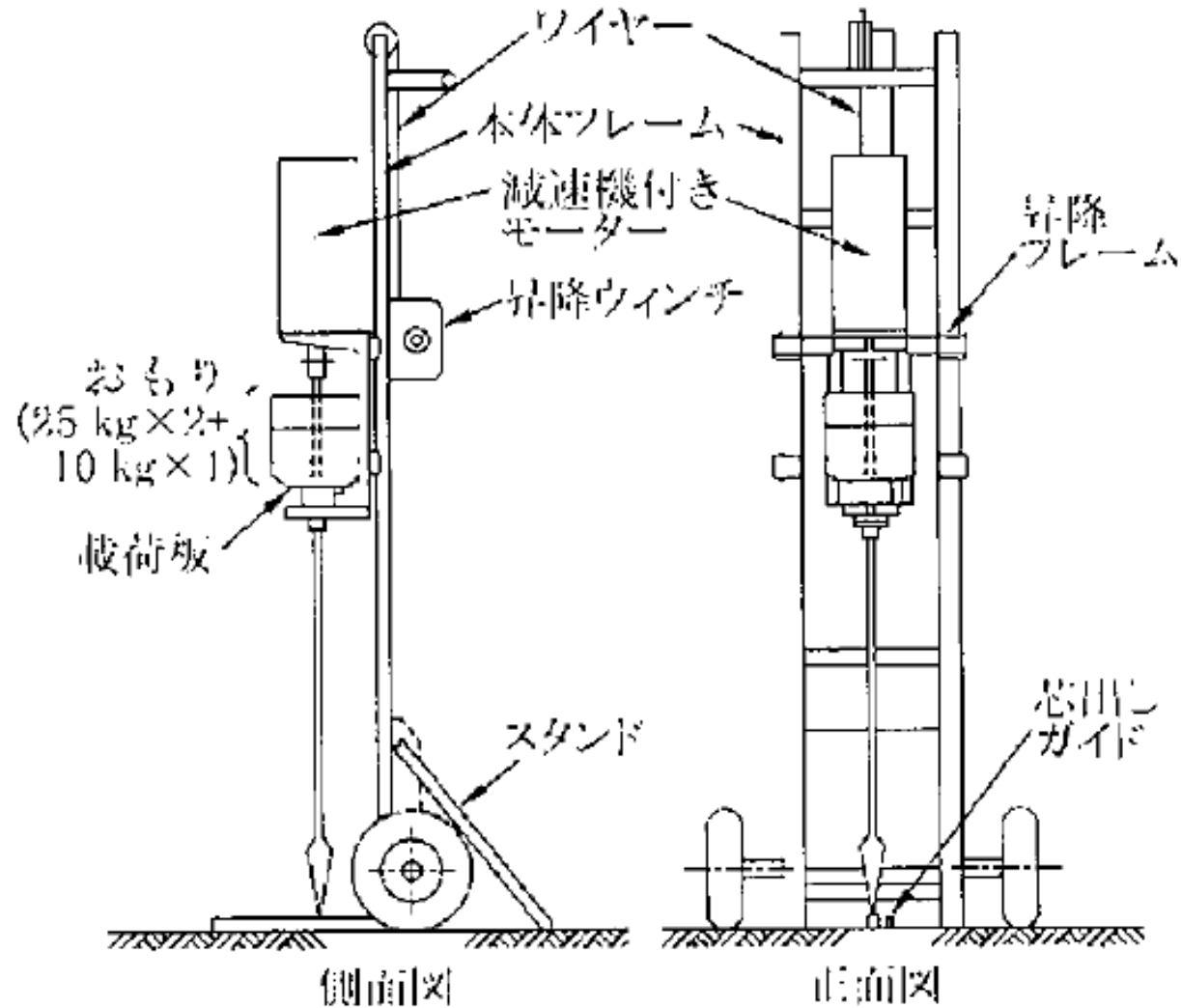
『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

スウェーデン式サウンディング 測定イメージ(手動)



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

スウェーデン式サウンディング 測定イメージ(自動)



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

スウェーデン式サウンディングの留意事項

適用地盤

- 深さ10m程度の軟弱地盤向き
- 密な砂層地層、礫層、玉石層、固結地盤には不向き

スクリーポイントが、砂や砂礫層に咬んでしまって抜けない場合

- ハンドルを右に回して引き抜く
- 三又とチェーンブロックを用いる
- 数回、おもりなどで下方に打撃し、一度押し込んでから引き抜く
- ロッドをハンマーなどで打撃し、スクリーポイントに振動を与えて、引き抜く
- クランプなどでロッドを固定し、油圧ジャッキにより引き抜く

スクリーポイントを地中に置いてきてしまった場合

- 1～1.5m程度の深さの場合にはスコップ等で掘り下げて回収
- 深度が大きい場合には、油圧シャベルを用いて開削して回収
- 深度が大きい場合には、ボーリング機械のコアチューブや回収ツールを用いて回収

無理な調査は行わない

日頃の整備により摩耗・破損した器具の使用は控える

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成